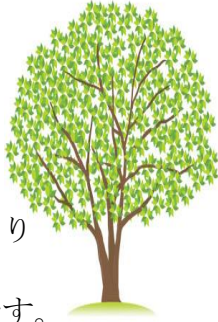


私のとおきおきの場所

井の頭公園内の玉川上水に沿って万助橋から久我山方向に歩くと幸橋と新橋の間右側に雑木林の広場があります。

開いている扉を入ると懐かしい武蔵野の風景。ナザレ修道院の裏庭で誰でも自由に入ることができます。そこには素朴なテーブルと椅子がありウォーキングの途中にちょっと一息できる空間です。



誰からも干渉されずにゆっくりくつろげて、木々の間の木漏れ日と小鳥の声を聴きながら、一息できるとおきおきの場所。皆さんも行ってみませんか？ 残念ながらペットは、入れませんのでご注意ください。

いのかしらこうえんおさんぽギャラリー



〈ウスキテングダケ〉

まるで童話の世界に出てくるようなきのこです。去年は雨が多く、公園ではたくさんの種類のきのこに出会えました。そっと見守り、愛でて行く…今年も楽しみです。食用ではありませんのでご注意ください。



お散歩のすすめ



ひとりウォーキングの 小さな 四季

C.F.

- 春
- ・ふきのとう、つくし、野辺の花をみながらウォーキング。
 - ・井の頭公園から神田川沿いの桜はきれい。散りゆく頃の花筏、ゆっくりと流れ行く水面に目を奪われた。
- 夏
- ・朝のブルーベリー採りから、大、小のひまわりが農家の庭先で太陽と追いかけっこしているようだった。
 - ・蝉の声を背に、やや涼しい風が頬をなでる夕方のウォーク。
- 秋
- ・「花のこみち」両側には萩が咲きほこっていて、かき分けながら歩くようだった。
 - ・真っ赤なもみじと黄色い銀杏のコントラスト、素晴らしかった。夕やけが明日の晴天を思わせるような、きれいで絵になるような景色だった。
- 冬
- ・ある年(お正月)雪が降り公園の赤い椿に積り、綿帽子のようにみえた。一面銀世界のきれいな光景だった。

今年もこの光景を異なる場所(庭)で見ることができ、うれしかった。

東西南北ウォーキングして思うことは老若男女、多くの方との出会い、さまざまな景色や発見もあった。自然の花をみては飾ってみたい気持ちになる。「お花の会」を思い出し、生けてみたい等々なつかしんでいる自分があった。

元気でいる限りウォーキングを楽しみたいと、思っている今日この頃です。

※とり肌がたった思い出：白い「へび」に二度出会ったこと。(本町四丁目・井の頭公園)